

編集後記

★ 新年度が始まりました。職場には新たなスタッフが加わり、外来や病棟、手術室の雰囲気にもどこか新鮮さが感じられます。研修医や若手医師の初々しい姿を見るたびに、自分自身の若い頃を思い出すとともに、医療の現場が世代を超えて受け継がれていくことの意義を改めて実感いたします。

★ さて、前号の編集後記でも触れられておりましたが、長年にわたり本誌編集後記の挿絵を担当されてきた広島大学名誉教授の生田義和先生によるイラストが終了いたしました。長きにわたり、読者に温かみのある情景を届けてこられた功績に、改めて深い敬意と感謝を表したいと思います。

★ 本号より新たに挿絵をご担当いただくのは、現在、東京慈恵会医科大学整形外科同門会長の石垣正美先生です。石垣先生は1979

年に東京慈恵会医科大学をご卒業後、同大学整形外科に入局され、複数の関連病院で研鑽を積まれたのち、2000年に石垣整形外科を開業され、現在に至るまで地域医療に貢献されております。

★ 私と石垣先生との出会いは、私が自治医科大学卒業後の義務年限中、1996～1998年にかけて当時の神奈川県立厚木病院（現・厚木市立病院）整形外科に勤務していた頃に遡ります。当時、石垣先生は整形外科部長とし

てご指導くださり、臨床のみならず医師としての姿勢についても多くのことを学ばせていただきました。その後も長きにわたりご指導とご厚誼を賜り、現在に至るまでお付き合いをさせていただいております。

★ そのような石垣先生が油絵を始められたのは、もともと絵画鑑賞を趣味とされていたことに加え、60歳を過ぎてからご自身でも描いてみたいと思われたことがきっかけと伺っております。その後、二科展において第103回から昨年の第109回まで連続して入選されており、

その実績には驚かされます。私が一緒させていただいていた当時は、絵画についてお話しする機会は一度もなく、正直なところ石垣先生が絵を描かれるとは全く想像しておりませんでした。石垣先生はもともと多方面にわたりご活躍される先生でしたが、当時は絵画とは無縁の印象を持っておりました（勝手な印象で恐縮ですが）。今回、実際に作品を拝見し、その豊かな感性と表現力に触れ、改めて多才なお人柄に深い感銘



キンデルダイクの風車
(オランダ)

石垣正美 画
2026-6

を受けました。

★ 臨床医として第一線で活躍されながら、新たな分野に挑戦し成果を上げられている姿は、我々にとっても大きな刺激であります。個人的には、石垣先生の絵を拝見していると、非常に楽しかった厚木病院時代を思い出すようで、編集後記の新たな楽しみができたことを大変うれしく感じております。

(稲葉 裕)

顧問	林 浩一郎	石井 良章	中村 孝志	高岡 邦夫	長野 昭	四宮 謙一
	岩本 幸英	星野 雄一	越智 光夫	遠藤 直人	大川 淳	
編集	松田 秀一	竹下 克志	安達 伸生	稲葉 裕	吉井 俊貴	
臨床雑誌	整形外科 77巻・7号 (6月号, 第934冊)			2026年6月1日	発行	
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42-6			小 立 健 太		
印刷所	東京都江東区亀戸七丁目2-12			三報社印刷株式会社		
発行所	〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6			編集	TEL 03-3811-7619	FAX 03-3811-8660
株式会社 南江堂	https://www.nankodo.co.jp/			営業	TEL 03-3811-7239	

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036